

各 位

2024年9月24日
株式会社リットーミュージック『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /04 復刻版』
『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /05 復刻版』
坂本龍一自ら監修した楽譜集がついに復刻・発売に▲左：『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /04 復刻版』表1画像
右：『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /05 復刻版』表1画像

インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /04 復刻版』『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /05 復刻版』を、2024年12月18日に発売します。

2005年に刊行された坂本龍一監修による2冊の公式楽譜集『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /04』『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /05』は、長らく品切れ状態が続いており、多くのファンから再発売を期待する声が寄せられていました。そこで今回、内容はもちろん、デザインもできる限り原書に忠実な形で復刻いたします。

これらの楽譜集の元となっているのは、坂本龍一のピアノ演奏を中心とした2枚のセルフカバー・アルバムで、2004年に『/04』、そして2005年に『/05』が発売されました。

アルバム『/04』に対応する『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /04 復刻版』では全13曲を収録しています。CM曲として知られる「Asience」（楽譜はアルバムとはアレンジの異なる「Asience - slow piano」バージョン）、同じくCM曲の「Yamazaki 2002」、ピアノ8台による多重録音「+33」、映画『戦場のメリークリスマス』のテーマ曲「Merry Christmas Mr. Lawrence」、アルバムではピアノ4台の多重録音だったアレンジをピアノ2台用に再編曲した「Rain」、ピアノ用にアレンジされ歌詞も記された「Perspective」、ピアノ・ソロにアレンジされた「Undercooled」、8台のピアノとプリペアドピアノによる「Riot in Lagos」、舞台『浪人街』のテーマ曲「Theme for Roningai」（楽譜は「Theme for Roningai - pf」バージョンを掲載）、フェイ・ダナウェイのために書かれた「Tamago 2004」（楽譜は「Tamago 2004 - pf」を掲載）、バイオリン、チェロ、ピアノのトリオ編成による「Bibo no Aozora」、PlayStation 2用ゲーム・ソフト『SEVEN SAMURAI 20XX』のために書き下ろされた「Seven Samurai - ending theme」（楽譜はピアノ・ソロの「Seven Samurai - -ending theme pf」を掲載）、そして最後はCM曲の「Dear Liz」というラインナップ。なお、2005年に発行されたオリジナルの『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /04』に付属していたCDは、復刻版には含まれていません。

アルバム『/05』に対応する『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /05 復刻版』も13曲を掲載。ピアノ用にアレンジされた「Tibetan Dance」、二胡奏者のケニー・ウェンのために書かれた楽曲をピアノ・ソロで演奏した「A Flower is not a Flower」、坂本龍一いわく“瞑想的な曲”にアレンジしたという「Amore」、大ヒットしたCM曲「Energy Flow」、自身で“1、2を争うほどシンプルな曲”と語る「Aqua」、映画「ラスト エンペラー」のテーマ曲のピアノ・アレンジ「The Last Emperor」、YMOのアルバム『BGM』に収録されていた楽曲を4台のピアノで再構成した「Happyend」、1stソロ・アルバム収録曲のピアノ・バージョン「Thousand Knives」、現代美術家の小粥丈晴のインスタレーション作品用に作られた「Fountain」、映画『シェルタリング・スカイ』のテーマ曲「The Sheltering Sky」、映画『FEMME FATALE』のテーマ曲の一つ「Lost Theme」、映画『星になった少年 Shining Boy & Little Randy』のテーマ曲「Shining Boy & Little Randy」、アルバム『BTTB』のインターナショナル版にボーナス・トラックとして収録された「Reversing」と、こちらはアルバム『/05』のアレンジを踏襲した楽譜集となっています。

どちらの楽譜集も、坂本龍一本人による楽曲解説と演奏におけるTipsが語られているのが大きな特徴です。その上、ロング・インタビューも掲載されています。その内容は、音楽理論的な部分まで深く踏み込んだ非常に貴重なものとなっています。

さらに、オリジナルのオフィシャル・スコアブックは、紙の選択やデザインにも坂本龍一自らが深くかかわって制作されました。そのアート・ディレクターを務めたのは、坂本龍一のアルバム・ジャケットなども手掛けた故・中島英樹氏（中島デザイン）。目にやさしい色合いの紙選びや実はよく見るとあえて“にじみ”や“かすれ”を織り交ぜたこだわりの印刷など、細部にまで徹底してこだわった仕上がりとなっています。復刻版では、これらのディテールを踏襲しながらも、あらたに森林保護を目的としたFSC認証を受けた仕様といたしました。これはもちろん、坂本龍一自身が森林保全団体 more trees を設立したことへの共感からです。そのため用紙などの一部が原書と異なっている部分があることをご了承いただければと思います。

アルバム『/04』と『/05』は単なるピアノ作品集ではなく、意欲的な創造に満ちたピアノ・アレンジ集です。2冊の楽譜集はそのクリエイティビティを目に見える形で表したもうひとつの『/04』と『/05』と呼べるでしょう。ぜひ多くの方に演奏していただければ幸いです。

※アルバム『/04』『/05』は、2枚組CD『/04 /05』として2024年12月18日にワーナーより再発売されることが決定

4/04 Commentary & Tips for Pianists

1. [Sonata] (ARRANGE/CM) 楽譜目録: [Sonata-stre-piano] 楽譜目録

2. [Sonata] (Music for Louis Vuitton 150th Anniversary)

3. [Sonata] (Music for Louis Vuitton 150th Anniversary)

4. [New Christmas All. Lessons] (楽譜 楽典のピアノとピアノ) 楽譜目録

5. [Sonata] (楽譜目録: [Sonata-stre-piano] 楽譜目録)

6. [Perspective] 楽譜目録

7. [Unaccompanied-acrobatics] 楽譜目録: [Unaccompanied-acrobatics] 楽譜目録

4/04 Long Interview

Interview #1 / 楽譜目録

1. [Sonata] (ARRANGE/CM) 楽譜目録: [Sonata-stre-piano] 楽譜目録

2. [Sonata] (Music for Louis Vuitton 150th Anniversary)

3. [Sonata] (Music for Louis Vuitton 150th Anniversary)

4. [New Christmas All. Lessons] (楽譜 楽典のピアノとピアノ) 楽譜目録

5. [Sonata] (楽譜目録: [Sonata-stre-piano] 楽譜目録)

6. [Perspective] 楽譜目録

7. [Unaccompanied-acrobatics] 楽譜目録: [Unaccompanied-acrobatics] 楽譜目録

/05 Long Interview

Interview #1
坂本龍一

坂本龍一先生にインタビュー

「坂本龍一先生にインタビュー」は、音楽家としての坂本龍一先生と、指揮者としての坂本龍一先生との対談です。音楽家としての坂本龍一先生は、作曲、演奏、録音、プロデュースなど、幅広い分野で活躍されています。指揮者としての坂本龍一先生は、東京交響楽団、NHK交響楽団、ロンドン交響楽団などを指揮されています。この対談では、音楽家としての坂本龍一先生の創作活動や、指揮者としての坂本龍一先生の指揮観について、詳しくお話を伺います。

① 音楽家としての坂本龍一先生について
② 指揮者としての坂本龍一先生について
③ 音楽家としての坂本龍一先生と指揮者としての坂本龍一先生の違いについて
④ 音楽家としての坂本龍一先生の創作活動について
⑤ 指揮者としての坂本龍一先生の指揮観について

18

Interview #2
坂本龍一先生にインタビュー

M1 [Titanic Dance]

① 音楽家としての坂本龍一先生について
② 指揮者としての坂本龍一先生について
③ 音楽家としての坂本龍一先生と指揮者としての坂本龍一先生の違いについて
④ 音楽家としての坂本龍一先生の創作活動について
⑤ 指揮者としての坂本龍一先生の指揮観について

19

/05 Commentary & Tips

1) Titanic Dance

① 音楽家としての坂本龍一先生について
② 指揮者としての坂本龍一先生について
③ 音楽家としての坂本龍一先生と指揮者としての坂本龍一先生の違いについて
④ 音楽家としての坂本龍一先生の創作活動について
⑤ 指揮者としての坂本龍一先生の指揮観について

2) [A Flower is not a Flower]

① 音楽家としての坂本龍一先生について
② 指揮者としての坂本龍一先生について
③ 音楽家としての坂本龍一先生と指揮者としての坂本龍一先生の違いについて
④ 音楽家としての坂本龍一先生の創作活動について
⑤ 指揮者としての坂本龍一先生の指揮観について

3) [Amore]

① 音楽家としての坂本龍一先生について
② 指揮者としての坂本龍一先生について
③ 音楽家としての坂本龍一先生と指揮者としての坂本龍一先生の違いについて
④ 音楽家としての坂本龍一先生の創作活動について
⑤ 指揮者としての坂本龍一先生の指揮観について

4) Energy Flow

① 音楽家としての坂本龍一先生について
② 指揮者としての坂本龍一先生について
③ 音楽家としての坂本龍一先生と指揮者としての坂本龍一先生の違いについて
④ 音楽家としての坂本龍一先生の創作活動について
⑤ 指揮者としての坂本龍一先生の指揮観について

5) [Aqua]

① 音楽家としての坂本龍一先生について
② 指揮者としての坂本龍一先生について
③ 音楽家としての坂本龍一先生と指揮者としての坂本龍一先生の違いについて
④ 音楽家としての坂本龍一先生の創作活動について
⑤ 指揮者としての坂本龍一先生の指揮観について

6) The Last Emperor

① 音楽家としての坂本龍一先生について
② 指揮者としての坂本龍一先生について
③ 音楽家としての坂本龍一先生と指揮者としての坂本龍一先生の違いについて
④ 音楽家としての坂本龍一先生の創作活動について
⑤ 指揮者としての坂本龍一先生の指揮観について

7) [Happyness]

① 音楽家としての坂本龍一先生について
② 指揮者としての坂本龍一先生について
③ 音楽家としての坂本龍一先生と指揮者としての坂本龍一先生の違いについて
④ 音楽家としての坂本龍一先生の創作活動について
⑤ 指揮者としての坂本龍一先生の指揮観について

20

■ 書誌情報

書名：『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /04 復刻版』
 定価：5,940 円（本体 5,400 円＋税 10%）
 発売：2024 年 12 月 18 日
 発行：リットーミュージック
 商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3124443001/>
 予約開始：2024 年 9 月 24 日

■ 書誌情報

書名：『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /05 復刻版』
 定価：5,940 円（本体 5,400 円＋税 10%）
 発売：2024 年 12 月 18 日
 発行：リットーミュージック
 商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3124443002/>

予約開始：2024年9月24日

『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /04 復刻版』

CONTENTS

/04 Commentary & Tips by Ryuichi Sakamoto

- 1 Asience
- 2 Yamazaki 2002
- 3 +33
- 4 Merry Christmas Mr.Lawrence
- 5 Rain
- 6 Perspective
- 7 Undercooled - acoustica
- 8 Riot in Lagos
- 9 Theme for Roningai
- 10 Tamago 2004
- 11 Bibo no Aozora
- 12 Seven Samurai-ending theme
- 13 Dear Liz

/04 Long Interview

Selected Discography

『オフィシャル・スコアブック 坂本龍一 /05 復刻版』

CONTENTS

/05 Questionnaire

/05 Commentary & Tips

- 1 Tibetan Dance
- 2 A Flower is not a Flower
- 3 Amore
- 4 Energy Flow
- 5 Aqua
- 6 The Last Emperor
- 7 Happyend
- 8 Thousand Knives
- 9 Fountain

- 10 The Sheltering Sky
- 11 Lost Theme
- 12 Shining Boy & Little Randy
- 13 Reversing

/05 Long Interview

Selected Discography

PROFILE

坂本龍一

1952 年東京生まれ。1978 年『千のナイフ』でソロデビュー。同年に高橋幸宏、細野晴臣と共に「YELLOW MAGIC ORCHESTRA (YMO)」を結成。1983 年に散開後もソロアルバムの発表やアーティストとのコラボレーションなど多方面で活躍。常に革新的なサウンドを追求する姿勢は世界的評価を得ている。また自身も出演した映画『戦場のメリークリスマス』(78/大島渚監督)では英国アカデミー賞で作曲賞、映画『ラストエンペラー』(88/ベルナルド・ベルトルッチ監督)でアカデミー賞作曲賞、グラミー賞など多数の映画賞を受賞し、映画音楽作曲家としても地位を確立した。

以降もコンスタントに国内外の映画作品に携わり、これまでに手掛けた作品は『ハイヒール』(92/ペドロ・アルモドバル監督)、『スネーク・アイズ』(99/ブライアン・デ・パルマ監督)、『母と暮せば』(15/山田洋次監督)、『レヴェナント：蘇えりし者』(16/アレハンドロ・G・イニャリトゥ監督)、『怒り』(16/李相日監督)、『アフター・ヤン』(22/コゴナダ監督)、『怪物』(23/是枝裕和監督)など。

環境や平和問題への言及も多く、森林保全団体「more trees」の創設、「stop rokkasho」、「NO NUKES」などの活動で脱原発支持を表明、また「東北ユースオーケストラ」を立ち上げるなど音楽を通じた東北地方太平洋沖地震被災者支援活動も行った。

2013 年に山口情報芸術センター(YCAM) 10 周年事業のアーティストック・ディレクター、2014 年に札幌国際芸術祭 2014 のゲストディレクターに就任。2018 年 piknic/ソウル、2021 年 M WOODS/北京、2023 年 M WOODS/成都で大規模インスタレーション展示を実施するなどアート界への越境も積極的に行った。

2021 年に直腸がんを公表、闘病生活を続けながらも翌年の 3 月に『東北ユースオーケストラ演奏会 2022』に参加、12 月にピアノ・ソロ・コンサート「Ryuichi Sakamoto: Playing the Piano 2022」を世界配信。2023 年 1 月 17 日に日記を書くように制作した最後のアルバム「12」を発売。同年 3 月 28 日に死去。以後も複合現実(MR)コンサート「KAGAMI」の海外上演、高谷史郎(ダムタイプ)とのコラボレーションで制作したシアターピース「TIME」のアジア圏での上演、さらに最後のピアノ・ソロ演奏を記録した長編コンサート映画『Ryuichi Sakamoto | Opus』(23/空音央監督)が世界各国で公開。2024 年 12 月 21 日からは東京都現代美術館で国内初の大規模展覧会「坂本龍

ー | 音を視る 時を聴く」が2025年3月30日まで予定されるなど、ジャンルを問わずに功績を残した軌跡が語り続けられている。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp